



古石

入院「原則付き添い」 8割

全道病院調査

入院「原則付き添い」8割

食事対応「ない」6割

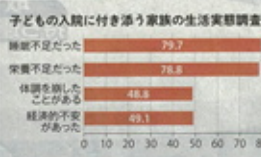
睡眠・栄養不足…過酷な環境浮き彫り

小林・聖路加国際大教授に聞く

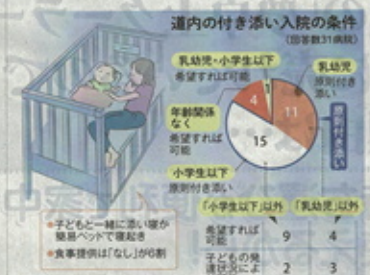


小林 聖路加国際大教授

全道病院調査の結果、入院患者の約8割が原則付き添いが必要とされている。また、食事対応が満足できない患者は約6割に達している。睡眠・栄養不足などの過酷な環境が浮き彫りされている。小林聖路加国際大教授に話を聞いた。



子どもの入院に付き添う家族の生活実態調査。睡眠不足が79.7%、栄養不足が78.8%、体調を崩したことがあるが48.5%、経済的負担が49.1%と、多くの家族が負担を感じている。



道内の付き添い入院の条件。乳幼児・小学生以下は希望すれば可能、小学生以下は原則付き添い、小学生以下以外（乳幼児以外）は希望すれば可能、小学生以上は原則付き添い不可。

おうちで五輪 商戦期待



大型TV、調理家電好調。オリンピックの開催に合わせて、家庭用ゲーム機やテレビの売上が伸びている。特に大型テレビと調理家電が好調だ。

渡辺氏処遇 自民内火種に

公明 4度目比例上位を期待。渡辺氏（公明）の扱いが党内で議論されている。公明は4度目の比例上位を期待しているが、党内には異なる意見がある。



旭川市長、笠木氏後継指名へ

旭川市長の選挙で、笠木氏の後継者を指名する意向がある。市長は選挙区民の意見を踏まえ、適切な後継者を指名する方針だ。

主食米の余剰 2割圧縮

主食米の生産量が消費量を大きく上回っており、余剰米の処理が課題となっている。政府は余剰米の量を2割削減する目標を掲げている。

道「第5波」急迫に先手

まん延防止要請 解除1週間余りでかじ。第4波の教訓を踏まえ、第5波の急迫に先手を打つ必要がある。まん延防止要請の解除は1週間以上経過している。

Table with 5 columns: 1週間のPCR検査の陽性率, 1週間の人口10万人当たりの新規感染者数, 1週間の感染経路不明割合, 10万人当たりの感染者数, 確保病床の使用率. It compares data for the entire prefecture and major cities like札幌市 and旭川市.

「Go To」再開見えず

旅行業者、感染予防と両立探る。Go Toキャンペーンの再開は見えていない。旅行業者は感染予防と観光振興の両立を探っている。

内閣支持率 軒並み最低

与党動揺「選挙遅らせて」。内閣の支持率が軒並み最低となり、与党内に動揺が広がっている。選挙の遅延が議論されている。

Table showing support rates for various political parties: 共同連合 (77.18%), 朝日新聞 (71.18%), 産経新聞-FNN (71.18%), テレビ朝日 (71.18%), 毎日新聞 (71.18%), 時事通信 (71.18%).